

# 第25回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年2月

応募者名：東京都 建設局

事業の名称：東京都市計画道路

補助第5号線整備事業

実施都市名：東京都

## 事業目的

港区赤坂二丁目(外堀通り)を起点として、目黒区中目黒一丁目(山手通り)に至る、全長約5.3kmの都市計画道路である補助第5号線において、唯一未整備である延長約150m区間を整備し、外堀通りと山手通りを結ぶ全線を完成させる。

また、環状第4号線(外苑西通り)及び放射第22号線(六本木通り)を補完する新たな道路ネットワークの形成により、周辺道路の渋滞緩和を図る。

## 事業概要

事業名称: 東京都市計画道路補助第5号線整備事業

路線名: 補助第5号線

事業箇所: 港区南青山六丁目～同区南青山七丁目

事業延長: 150m

幅員: 15.0m

事業費: 約9,900百万円

事業実施期間: 平成14年度～平成23年度

本事業は、全長約5.3kmの補助第5号線のうち、唯一未整備である約150m区間の開通により、幹線道路を補完し、道路ネットワークを形成するとともに、赤坂、南青山、広尾、恵比寿、代官山、中目黒の洗練された商業、業務系地区が直接結ばれ、利便性が向上する。

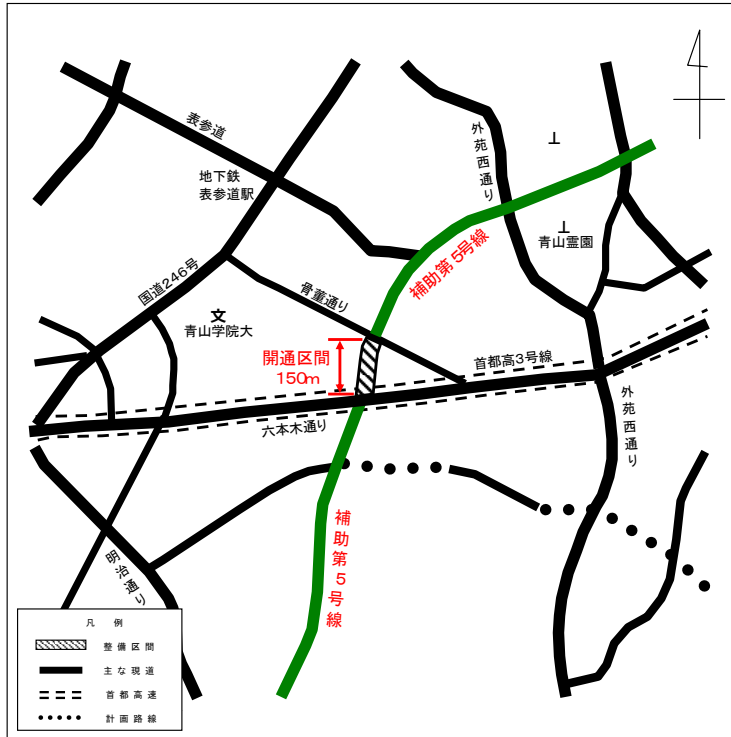
整備にあたっては、車道部に低騒音舗装、歩道部ではバリアフリー化、電線類の地中化を図った。

また、警察と一緒に地元町会と対話を重ね、整備形態に理解が得られるよう努めた。

# 路線全体図



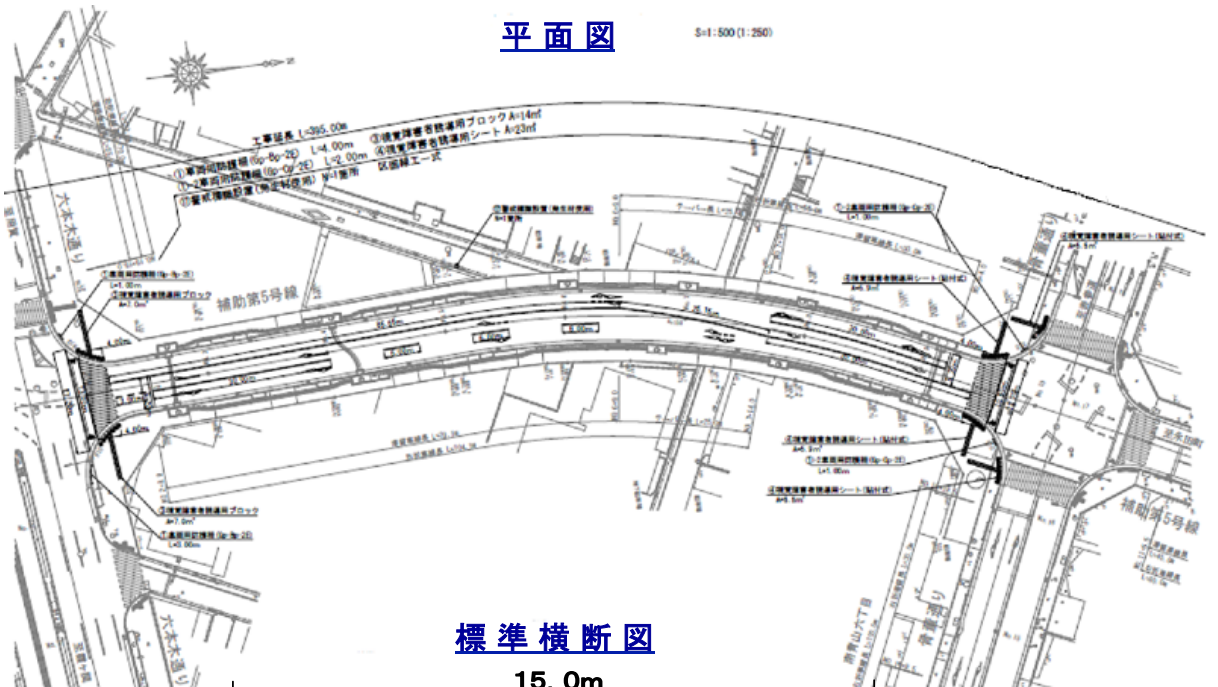
# 事業位置図



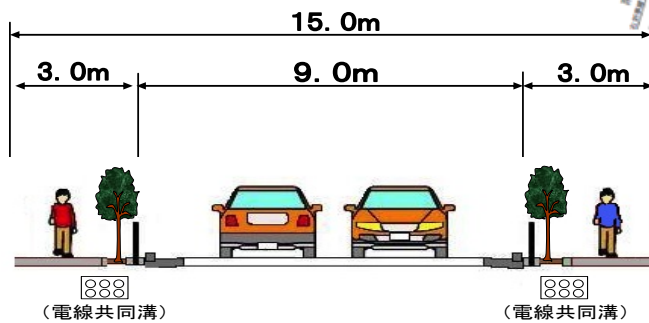
## 全体図(平面図・側面図・横断面図)

### 平面図

S=1:500 (1:250)



### 標準横断面図



# 補助第5号線の整備効果アピール資料

## ○事業概要

事業名：東京都市計画道路 補助第5号線整備事業  
 路線名：補助第5号線  
 事業個所：港区青山六丁目  
 ～同区南青山七丁目  
 事業延長：150m  
 幅員：15.0m  
 事業費：約9,900万円  
 事業実施期間：平成14年度～平成23年度

## ○交通量調査結果

・調査日時 開通前 平成23年2月4日(金)実測  
 開通後 平成24年12月6日(木)実測  
 ・調査内容 交通量、旅行時間、主要交差点の滞留長  
 ・補助第5号線の交通量(24時間交通量換算値)  
 7,407台⇒15,614台(8,207台増)

## 『整備効果』

### ○補助第5号線の全線開通による利用者の増加

<補助第5号線の交通量>

**約8,200台増加**

### ○周辺交差点の混雑状況

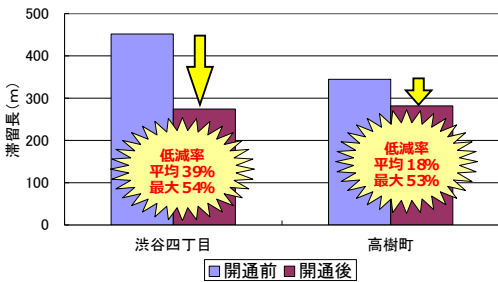
<渋谷四丁目交差点>

開通前より平均**39%**緩和!(最大**54%**緩和!)

<高樹町交差点>

開通前より平均**18%**緩和!(最大**53%**緩和!)

\*調査 7時～19時



**★開通により、周辺交差点の円滑化が図られた。**

### ○生活道路における通過交通の状況

<並行する生活道路の交通量>

**約1,800台減少**

### ○所要時間の短縮

補助第5号線の開通により、恵比寿～表参道間の所要時間が短縮した。

## 『安全に係る効果』

### ○歩行環境の向上

- ・歩道整備により歩車分離が図られ、安全性が向上。
- ・周辺の生活道路(通学路含む)の通過交通が減少し、歩行者の安全性が向上。

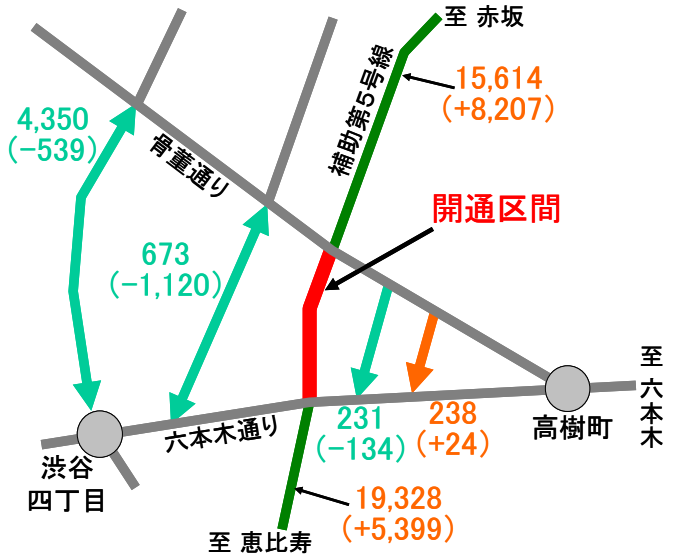
### ○防災機能の向上

- ・避難路及び延焼遮断効果の確保。
- ・避難場所(青山墓地一帯)へのアクセスが向上。
- ・電線類の地中化により震災時の安全性が向上。

## 『その他地域効果』

### ○文化的魅力の向上

- ・点在する各種美術館や文化施設(音楽)が結ばれ、美術館通りと呼称されるなど、文化的な路線として魅力が向上した。



### <凡例>

上段 24時間交通量  
 (下段) 増減値

交通量増加  
 交通量減少

**★生活道路の通過交通減少により安全性が向上した。**



**★開通前より約3分の時間短縮が図られた。**

# 事業前写真

## 六本木通りとの交差点

平成19年6月撮影



## 骨董通りとの交差点

平成19年4月撮影



# 事業後写真

## 六本木通りとの交差点

平成24年3月撮影



## 骨董通りとの交差点

平成24年3月撮影

